

《中野市》 中野市社会福祉協議会

〔センターの基本事項〕

所在地	〒3383-0042 中野市西条70-1			
電話 F A X	0269-26-3111	02659-23-1662		
電子メール	—			
H P アドレス	—			
職員数	正規	—	嘱託	—
	臨時	—	その他	—
開所日と時間	平日 8:15～17:15 土日祝を除く			
情報誌	中野市ボランティア情報誌 年2回発行			
来所者数	—			

〔センターの運営方針・指針等〕

--

〔センターの拠点整備〕

活動場所の提供	<input type="radio"/>	ボランティアルーム「あんと」 無料、対象者：ボランティア連絡協議会加入者
フリースペースの設置	<input type="radio"/>	
資機材等の貸出	<input type="radio"/>	ゲーゴルゲーム、スマートボーリング、ポータブルスピーカー
福祉体験器具等の貸出	<input type="radio"/>	高齢者疑似体験セット、アイマスク、点字器
登録グループの専用ポストの設置	<input type="checkbox"/>	
情報掲示板・チラシ提供スペースの設置	<input type="radio"/>	

〔ボランティアセンター運営委員会〕

組織の有無	無	規約	無
名称	—		
委員構成	—		
事業への関わり	—		
工夫点	—		
課題点	—		

〔ボランティア連絡協議会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	中野市ボランティア連絡協議会		
協議会構成	会長1名、副会長2名、会計1名 理事（グループ代表+個人ボラ代表2名）、監事2名		
工夫点	・各グループの代表を理事とし、ネットワークづくりを大事にしている。 ・各年グループ交流事業を実施。		
課題点	—		

〔財源〕

人 件 費	独自財源	—
	共同募金	—
	委託料・補助金	—
	民間助成金	—
	その他	—

事 業 費	独自財源	<input type="radio"/>
	共同募金	—
	委託料・補助金	<input type="radio"/>
	民間助成金	—
	その他	—

〔事業計画・センター運営等について〕

○事業計画について 毎年度の事業計画について、どのように計画を立案していますか？	担当部署・担当職員間で事業計画を立案している。								
○センターにおける中長期計画について 独自の中長期計画・アクションプラン等を作成していますか？	—								
○アドバイザー等について センターの運営や事業実施に関して、アドバイザー等の助言者はいますか？	—								
○社協V C以外の中間支援機関について 社協が運営するV Cとは別に、他団体が運営する中間支援機関が地域内にありますか？	—								
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">連携・協働先</th> <th style="width: 50%;">連携・協働内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>		連携・協働先	連携・協働内容	—	—	—	—	—	—
連携・協働先	連携・協働内容								
—	—								
—	—								
—	—								
○センターの強みと弱みについて									
《強み》 社協＝ボランティアセンターであるので、情報が沢山ある。	《弱み》								

○V C見取り図

○他市町村社協ボランティアセンターについて センター運営や事業実施に関して、他市町村社協V Cに聞いてみたいことや知りたいことなど

ボランティアセンターの重点事業について

事業名	ふれあい広場
目的	<p>住み慣れた地域で安心して暮らせるまちにしたいという誰もの願いを実現するためには、地域みんなが互いに支えあい助け合うことが必要です。</p> <p>そのためにも、子供もお年寄りも障害のある人も、すべての住民一人ひとりが健康で生きがいを持ち、明るく暮らせるまちづくりと人づくりが必要です。</p> <p>ふれあい広場は、地域住民の福祉への理解と関心を高めるとともにボランティア地域活動への参加を推進し、世代や障害を越え交流を深める機会をつくります。</p>
開催頻度	年1回
内容	バザー・各種施設販売・アトラクション他
対象者	市民
企画のポイント 事業成果	市内各種団体が、実行委員会を構成して実施。
参加者の声や その後の動き など	一本木広場に、市内の各主団体、ボランティア団体が一堂に会し交流をするよい機会となります。

事業の様子

